

令和元年度 再就業支援研修

目的：再就業を希望する潜在看護職員等に対し、最新の看護等に関する知識及び技術を習得させ、職場復帰を容易にするための臨床実務研修を実施し、再就業の促進を図り、看護職員の確保に資することを目的とする

令和元年度再就業支援研修のご案内

1 潜在看護職員復職支援研修

令和2年1月21日(火)～1月23日(木) 角田病院(玉村町)
令和2年2月18日(火)～2月20日(木) 群馬中央病院(前橋市)



2 看護力再開発講習会

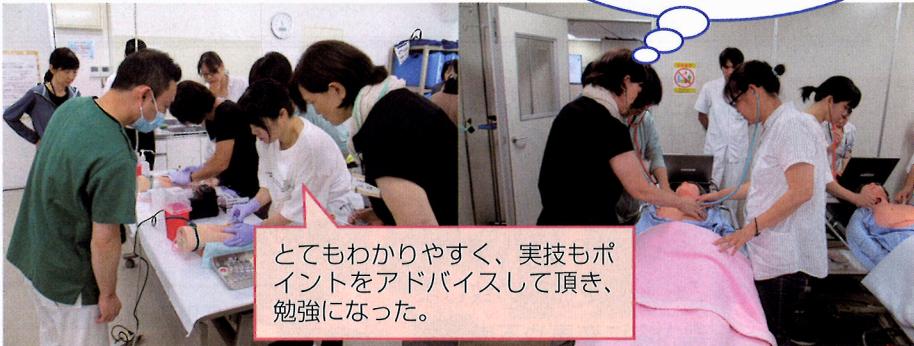
日程：令和2年2月12日(水) 10:00～15:00
会場：群馬大学医学部附属病院 スキルラボセンター

「なるほど…音が違う…」
呼吸音の違いについて学ぶことができた。

☆潜在看護職員復職支援研修は、4つの病院研修が終了し参加者は11名でした。

また、看護力再開発講習会は28名の方が参加しました。とても丁寧に教えていただき、勉強になったと満足の声が多くかったです。

(参加希望については、協会だよりぐんま 2019.Spring Vol.123の10ページをご参照ください。
申し込みは、群馬県ナースセンターまでお電話下さい。【☎ 027-269-5202】)



とてもわかりやすく、実技もポイントをアドバイスして頂き、勉強になった。

再就業支援研修参加者の声

【潜在看護職員復職支援研修(内田病院)に参加して】

期間：令和元年7月23日～25日(3日間)

今年7月に、沼田市の内田病院での潜在看護師復職支援研修に参加しました。以前から注目を浴びている内田病院の、身体抑制や拘束のない「縛らない認知症ケア 大誠会スタイル」を実践する現場を体験してみたいと思ったからです。

3日間の研修で心打たれたのは、「されて嫌なことはしない」「どうして欲しいかを聞く」を基本原則とするアプローチをケア提供時に行っていました。それぞれの分野で専門性を活かし、職種の壁を作らず、プロフェッショナルとして力を発揮していました。理事長の強い信念とリーダーシップが身体拘束をしない事が当たり前の現場を構築していると感じました。“危ないから”“何かあったらどうするの?”と叱責された過去を思い出し、思い悩んだことが一気に晴れました。

復職支援研修に参加してみて、現場の雰囲気や実際行われている看護を体験できる大変良い機会になったと感じました。ナースセンターではスタッフの皆さん、今置かれている状況での復職に対する悩みや不安と一緒に考えてくださいました。復職を考えている皆さん、是非ナースセンターへ足を運んでみてください！きっと心強いサポーターがあなたを支援してくれますよ!!

(T.Kより)

ぐんまナースセンターだより 第48号

再就業支援研修受け入れ病院の声

くすの木病院 看護部長 木下 明美

ナースセンター事業の一環である『潜在看護職員復職支援研修』の機会をいただき、この研修を通して2名が当院の看護職員として再スタートをきりました。

当院は中途入職者にもプリセプター制度を取り入れています。そこで本人と相談しながら最大限無理のない「就業時間」と「業務の役割」を決め、師長や教育担当者、プリセプターと共に業務内容を具体化し段階的に支援計画を立てました。看護の経験者という思いが負担にならないよう、逆にブランクを含めたその経験が強みとなるような働きかけが重要です。潜在看護職員は復職というスタートラインに立つ時点で、自己と向き合い看護への思いを募らせています。その思いをお互いに共有し尊重し合える職場に“看護のやりがい”という強みが生まれます。これは復職後の定着促進や離職防止において、重要な要因であると考えています。部署全体で声を掛け合い、やりがいをもって看護ができる職場環境づくりに今後も努力していきます。

再就業支援研修後に就職された方の声

看護ってやっぱり
いいなって思います

木野 利枝

随分と長いブランクがあつた為「もう看護の仕事は難しいかな」と感じながらも、抱いてきた看護への思いが募り「一度、話を聞いてみよう」と看護協会へ相談させていただきました。『潜在看護職員復職支援研修』を通してくすの木病院に復職し、もうすぐ2年になります。患者さんと関わることで自然と自分が笑顔になり、一緒に喜んだり、教えていただいたら、パワーをいただいたら、毎日たくさんの感動があります。また業務についてはスタッフの皆さんのが親切に教えてくださいますし、仕事以外のことも快く相談にのってくれています。テキパキと仕事をされている皆さんをみていて『継続は力なり』だと感じ意欲がわきます。

復職するにあたり色々と迷いましたが、勇気を出して『看護』の仕事に復職して本当に良かったと思っています。たくさんの方々との関わりの中で、自分にも出来ることがあるという喜びを日々感じながら、今後も看護の経験を積み重ねていきたいと思います。



木野さん・木下看護部長・栗原さん

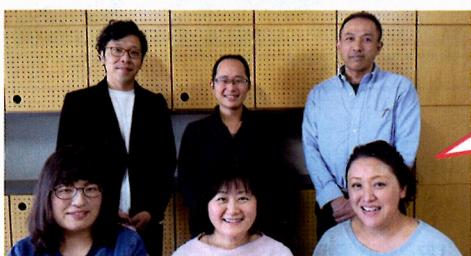
復職支援研修に参加してから再就業するまで

栗原 瞳

以前は埼玉の病院に常勤として4年間勤務しました。その後のブランクが8年ありました。子供の成長とともに復職を考えるようになりました。

そんな時、知人からナースセンターで「再就業支援」があるとの情報を貰い、昨年の9月にくすの木病院での『潜在看護職員復職支援研修』に参加しました。そこで病院の雰囲気がとてもよく非常勤で勤務されている方も多いと聞き就職を決めました。当初は緊張しながらの毎日でしたが、自分に合った勤務時間の配慮とプリセプターをつけていただき、採血や消毒、器機の操作方法や電子カルテの記録方法など基礎からひとつひとつ丁寧に教えていただけたので、今日まで不安なく勤務ができます。

復職前はブランクがあることをマイナスに捉えていましたが、今ではその間に経験したことを見護に活かそうと前向きに考えられるようになりました。周りのスタッフや患者さんから様々なことを学びながら、これからも看護を続けていこうと思います。



看護技術が不安で再就業に一步踏み出せない方を全力でサポートしています。是非、再就業支援研修に参加して下さい。お待ちしています。（ナースセンター委員）

群馬県ナースセンター【☎ 027-269-5202】